

戦後日本画壇の風雲児 日本画家 横山操展

The spirited man of the postwar
in the Japanese art society

Japanese painter YOKOYAMA

2025. 5/15^{thu} → 7/6^{sun}
Sagawa Art Museum

MISAO

戦後日本画壇の風雲児
日本画家
横山 操展

佐川美術館では、夏季展覧会として「戦後日本画壇の風雲児 日本画家横山操展」を開催いたします。

横山操（1920-1973）は新潟県西蒲原郡吉田町（現・燕市）生まれ、高等小学校卒業後14歳で上京し、デザイン会社で働きながら画家としての道を歩み始めます。しかし1940年に召集され、中国各地を転戦したのちは捕虜としてシベリアに抑留。1950年に復員すると川端龍子主宰の青龍社を中心に活動を再開します。人間の営為を感じる風景や身近な構造物を画題としたエネルギー感あふれる大作を発表し続け、世間に名を馳せました。1962年に青龍社を脱退すると活躍の場を個展やグループ展に変え、水墨表現に取り組むなど自らの創造の道を切り拓いていきます。1971年に脳卒中で倒れ右半身不随となり、絵筆を左手に持ち替えて制作をはじめますが、1973年に再び倒れそのまま帰らぬ人となりました。

本展では、画家・横山操の20年という短くも濃密な画業の中から、美術展への出品作、無所属で活躍していた時代の作品など、代表作を含めた約60点を展覧します。また、これまで公開される機会が少なかった丹念に描かれた作品によって、ダイナミックな画風で日本画界に新たな風を巻き起こした画家の知られざる一面も明らかにし、滋賀県では初の開催となる回顧展で操作品の魅力を存分に紹介します。



広報
画像

1

《ウォール街》1962年
東京国立近代美術館蔵

開催概要

◆名称：戦後日本画壇の風雲児 日本画家 横山操展

◆会期：2025年5月15日（木）～7月6日（日）

◆開館時間：9：30～17：00（最終入館16：30）

◆休館日：月曜日

◆入館料：一般1,300円、高大生900円、中学生以下無料 ※要保護者同伴

※専門学校・専修学校は大学に準じる。※障がい者手帳をお持ちの方（要手帳提示）、付添（1名のみ無料）

主催 佐川美術館（公益財団法人SGH文化スポーツ振興財団）、読売新聞社
後援 滋賀県、滋賀県教育委員会、守山市、守山市教育委員会
監修 横山秀樹氏（美術評論家、元新潟市新津美術館館長）
協力 SGホールディングス株式会社、佐川急便株式会社、佐川印刷株式会社

WEB 事前予約制
ご予約時にネット決済による
入館チケット購入をお願いします。

展示構成

第一章 戦前の横山操

当時、操が働いていた一壺堂図案社の仕事で制作した、優れたデザインセンスをうかがい知ることができるデザイン画や、それと並行して通っていた川端画学校時代（日本画家・川端玉章が創立した美術学校）の作品など、戦前に手掛けた作品が近年新たに発見されました。洋画家志望として上京し、その後日本画へ転向した横山操の若き研鑽の日々から生み出された作品の数々を紹介します。



《渡船場》1940年
燕市教育委員会蔵

第二章 青龍社時代の横山操

復員後、東京に赴いた操はネオン会社で働きながら日本画制作を再開し、戦争と抑留により失われた空白10年間を取り戻すかのように次々と作品を発表します。発表の場となったのは青龍社主催の青龍展であり、作品はどれも青龍社が標榜した会場芸術（従来の床の間に飾るための小さな日本画から脱却し、近代的な空間にふさわしい大画面の日本画の創造を目指す理念）に叶った巨大なもので、日常的な景色や雄大な大自然を画題にしました。本章では風雲児と呼ばれる所以となった自らの生きる「今」を、黒を基調として大画面に力強く豪放に描いた作品を中心に構成します。また、操は大作ではない風景画も手掛けており、大胆さとは異なる繊細な一面を垣間見ることができる作品も紹介します。



広報
画像

2

《送電源》1960年
燕市教育委員会蔵

第三章 無所属時代の横山操

1962年、青龍展出品作の画面の縮小を求められたことなどを理由に青龍社を去った操は、無所属となり活動の舞台をグループ展や個展に移して制作を続けました。「日本」や「日本画」に受け継がれてきた伝統的な精神性や世界観を独自に解釈し、装飾性に重きを置きつつ作品に昇華するようになります。その中で故郷・新潟の風景を叙情的に表現した作品や、日本画における伝統と現代性の関わりの追求として水墨表現を試みた作品を手掛けています。また一方で、親交の深かった日本画家・加山又造の勧めで多摩美術大学の教授として後進の育成にも注力しました。1973年に病に倒れ生涯を閉じる直前まで制作に打ち込み続けた、操の情熱に迫ります。



《山市晴嵐》（瀟湘八景）1963年 三重県立美術館蔵

見どころ

■力強く迫力ある作品の数々

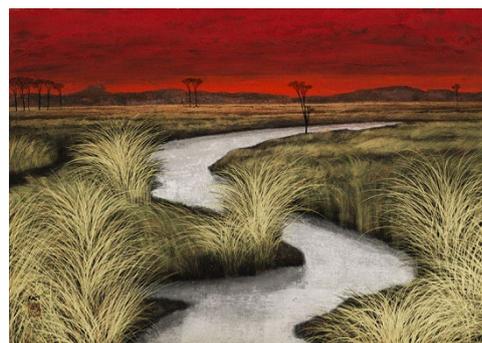
操が描く日本画は、従来の理想美を追求したものとは全く異質で、表現を求めたのは「現実」でした。それは生きている「今」であり、現代的建造物や生命力あふれる活火山をはじめとした大自然、人間の営為や息遣いが伝わる日常的な場面などを大胆に描き出しています。対象物はどれも画面いっぱいに構成される斬新なアングルで描かれ、その迫力に圧倒されます。勢いと力強さを伴った直線的な筆致は、硬質でありながらものびやかで、画題の美しさを端的に捉えています。決して飾ることなく素直に「今」が表現された操の作品は、当時の人々の心を打つと同時に共感を与えました。



《炎々桜島》1959年
新潟県立近代美術館・万代島美術館蔵

■約20年の短くも濃密な画業

53年の生涯で操が制作に充てることができた期間は約20年でしたが、その間に現在判明しているだけでも1200点以上の作品を描いています。中には1年で170点以上描いた年もあり、単純計算すると2日で1作品を完成させたことになるため、どれだけの体力や精神力が必要であったか計り知れません。制作ができただけでなく、明日の命さえもどうなるかわからない戦争と抑留を経た中での焦燥感を原動力として、一心不乱に制作に打ち込みました。絵を売ることができず、デザイン会社の給料がほとんど画材に消える生活苦の中でもその手を止めることはありませんでした。



《ふるさと》1965年
東京国立近代美術館蔵

広報
画像
3

イベント情報

※イベントの詳細は佐川美術館のホームページをご覧ください

■開幕記念ギャラリートーク

日時：5月15日（木）11時～（約30分）

講師：横山秀樹氏

（本展監修、美術評論家、元新潟市新津美術館館長）

■講演会「日本画家・横山操の生涯」

日時：6月15日（日）11時～（約90分）

講師：横山秀樹氏

※参加費無料（但し入館料は必要）

■ギャラリートーク

日時：6月1日（日）11時～/14時～（各30分）

講師：企画担当学芸員

■ワークショップ

「さわって学ぶ 日本画ってなに？」

日時：6月29日（日）10時～/14時～（各90分）

定員：各15名

●広報用画像について

本プレスリリース中に掲載している画像データ（**広報画像と記載されているもの**）をご用意しております。画像データをご希望の方は、同封の**作品画像使用申込書（プレゼント用無料観覧券申込付）**に必要事項をご記入の上、当館までファックスまたは下記担当者宛にメールでお申してください。当館ホームページ（<https://www.sagawa-artmuseum.or.jp/press/>）からも画像申請いただけます。

画像使用にあたり、各画像に必ず申込書記載のキャプションと著作権表記を付けてください。また、画像のトリミング、オーバープリント、上書き、改ざんはできません。画像は使用後必ず削除し、保存しないでください。

WEB上で画像を使用する際は、**低解像度（72dpi）**でしか使用できません。

なお、作品画像につきましては、当該展覧会の広報以外でのご使用はお断りしております。

原稿は企画担当者まで必ずお送りください。確認に期日を要するため、お早めにお問い合わせください。

◆交通のご案内：

お車ご利用の場合

駐車場有 70 台、美術館入館者は無料

- 名神・瀬田西 IC から湖周道路経由 （約 30 分）
- 名神・栗東 IC から守山栗東線経由 （約 30 分）
- 名神・京都東 IC から湖西道路（真野 IC）・琵琶湖大橋経由 （約 40 分）

鉄道ご利用の場合

- JR 琵琶湖線 守山駅から路線バス 「佐川美術館」下車 （約 35 分）
- JR 湖西線 堅田駅から路線バス 「佐川美術館」下車 （約 15 分）

本件に関するお問い合わせ先

公益財団法人 S G H 文化スポーツ振興財団
佐川美術館

〒524-0102 滋賀県守山市水保町北川 2891
TEL：077-585-7800／FAX：077-585-7810

企画担当学芸員：藤井 康憲（ふじい やすのり）、栗田 頌子（くりた しょうこ）

藤井メールアドレス y_fujii010@sagawa-artmuseum.or.jp

栗田メールアドレス s_kurita@sagawa-artmuseum.or.jp

※プレスについての問い合わせは栗田まで

戦後日本画壇の風雲児 日本画家 横山操展

報道関係各位

戦後日本画壇の風雲児 日本画家 横山操展 報道内覧会のご案内

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は佐川美術館の活動に格別のご高配を賜り、心より御礼申し上げます。

さて当館では、夏季企画展として「戦後日本画壇の風雲児 日本画家 横山操展」を開催いたします。

つきましては、一般公開前日の5月14日（水）に、下記のとおり報道内覧会を行います。

ご多用の折、誠に恐縮ではございますが、何卒ご来館賜りますようご案内申し上げます。

謹白

- 日 時 : 2025年5月14日（水）
- 会 場 : 佐川美術館
- 受 付 : 13:30 ~ (美術館内インフォメーション)
- 報道内覧会 : 14:00 ~ (本展監修・横山秀樹氏による展覧会解説、質疑応答)

内覧会参加申込

佐川美術館 宛

FAX / 077-585-7810



貴社名 _____

ご所属 _____

ご住所 〒 _____

ご連絡先 (TEL) _____

(FAX) _____

ご芳名 _____ (他 名) _____

* ご出席の方は 5月10日（土） までにご返送くださいますよう、お願い申し上げます。